

令和3年度 小松市立安宅中学校 学校評価1（計画）

めざす生徒像

『智仁勇 未来を拓く生徒』
 「智」 求めてやまぬ生徒
 「仁」 思いやりのある生徒
 「勇」 自ら行動できる生徒

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
(学校重点設定)	自己有用感の醸成・規律ある行動・生徒指導	・④を90%以上にする	① 学校では自分は大切にされている。							
			② 学校にしていると安心する。							
			③ 学校では自分が役立っていると感じる。							
			④ 学校が楽しい。							
			⑤ みんなで何かをするのは楽しい。							
			集計							
石川県共通重点項目	働き方や業務の改善	・①について100%にする	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。							
			② 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。							
			③ 月1回定時退校ができた。							
			④ 計画的に休養をとることができた。							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	・すべての項目で90%以上にする	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像（児童生徒像）を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。							
			集計							
	指導力の向上	授業	・①～⑥の生徒のアンケートの割合を90%以上にする	① 生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ (発表力) 生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 生徒は、友達と話し合うとき、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて（聞いて）、自分の考えを持つことができている。						
				⑥ 生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑦ 一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行っている						
	集計									
	学力の定着	学力調査	・すべての項目で90%以上にする	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。						
				② 学校力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。						
				③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)						
集計										
家庭学習	家庭学習	・③の項目で90%以上にする	① 自分で計画を立てて勉強している。							
			② 生徒の家庭学習の評価・指導を行っている。							
			③ 1週間に14時間以上を目標にして達成することができている							
			集計							